

おそろしいたばこの害

神余小 4年 加藤翔太
平成 15 年 11 月 22 日 (青空市)

ぼくは、タバコについて調べました。タバコによるがんや病気がたくさんあることが、わかりました。みなさんにタバコの害を伝えたいと思います。

タバコの正体

タバコをすっていると体の中のいろいろなところが痛みを感じたり、歯や爪や肺そめたりして、体じゅうを苦しめます。

タバコのけむり

タバコを吸うと肺に、黒いものができます。なぜなるかというときむりを、口からはいても残ったけむりが肺にみっちゃくし、肺がんになりやすくなります。

子供がたばこを吸うと

子供がタバコを吸うと体に影響を与えて具合を悪くします。

たとえば

- ・体重が増えない。
- ・身長が伸びない。
- ・走ると息切れがする。
- ・胃が痛む。
- ・咳こむ。

などという症状です。

タバコを吸うとなりやすい病

喉頭がん

タバコを吸ってタールになってから 20 年、30 年後にがんを起こします。喉頭がんは、のどのがんです。

脳出血

タバコを吸いつづけるとタバコのけむりにふくまれるニコチンや一酸化炭素は、脳の血管壁を傷つけるため、動脈硬化を起こしやすくさせ、脳出血を招く原因となります。脳細胞は一度死ぬと二度と再生しないため、脳出血により後遺症が残る。死に至るなどが起こります。

口腔がん

口の中は、タバコを吸いこむ直前のところなので、さまざまな害が現れます。口内炎や舌にできるがん、声帯にできるポリープ。最近では、歯肉炎の原因にもなることが、明らかになってきました。

胃がん

タバコを吸いつづけていると胃の中に出る血の量がふえていきます。血がへこんだところにたまっていきます。

ぼくは、かがやき学習でタバコの害について調べました。タバコでは、いろいろな病気がたくさんありました。ぼくは、大人になってタバコを吸わないで健康にいたいと思います。みなさんも、タバコ吸わないで健康な体でいてほしいと思います。